

第699号

〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福会館 5階

Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622

メール roren@knsu.jp

ホームページ http://knsu.jp/

全国検数労働組合連合
書記局

全国 検数労連

5月13日(金) 10:00~11:00 第8回 検数労連22春闘交渉

両協会回答に前進なし。

組合は賃金・労働条件の修正を求め、更なる追い上げをはかる。

【全日検】

4月の実績が前年度を下回っている中で、各支部で料金収受に向けた交渉を進めているが、成果に繋がっていない状況である。現

5月13日(金) 第8回検数労連22春闘交渉で組合は両協会に対し、賃金と諸要求の回答について修正を求め交渉を行いました。

【日検協会】

賃金回答については、前回交渉で説明したとおり、4月の数字が思わしくない中で出した精一杯の回答である。さらに、直近4月の数字が思わしくない中で擔保査定業務も終盤に差し掛かり数名が現地から帰ってきた。

諸要求のコロナワクチン接種における『特別休暇』については、接種した人だけに『特別休暇』を与えることは不公平であり、労組主張を否定するわけではないが、今後の継続課題としたい。

65才定年制に向けた労使協議については、これまで企業内労使でも協議してきた経緯がある。その中で、65才定年制の実施については様々な弊害が出ることから、早急な労使協議をしていく必要があるとの認識している。

5月13日(金) 第8回検数労連22春闘交渉で組合は両協会に対し、賃金と諸要求の回答について修正を求め交渉を行いました。

【組合主張】

賃金の引き上げについて、両協会の現状は一定理解しているが、22春闘はこれまで主張してきた通り『魅力ある港湾労働環境整備に向けた政労使によるスタート元年』との位置付けであり、港湾の賃上げの勢いを検数両協会が止めるような動きを作ってはいけない。

組合としてはまた両協会は賃上げに余力を残していると思っており、いま一度、賃金引き上げについては検討を求める。

ワクチン接種に対する『特別休暇』は不公平という事に関しても一定理解はするものの、エッセンシャルローカーとしては、ワクチン接種を推奨する必

状では選定産別協定について行くのが精一杯であり、大幅な賃金引き上げについては困難であることから、労組の賢明な判断を求めたい。

65才定年制の協議については、企業内3団体との間で、今秋くらいから協議を開始する方向で確認している。

全日検としては、他労組との関係もあり、検数労連との間だけ、65才定年制の実施に向けた協議の確認書を交わすことについては懸念がある。

※次回交渉:5月17日(火)15時~第9回 検数労連22春闘交渉。

※5月16日(月)18:00~

ZOOMを使った『22春闘経過報告集会』を開催します。

参加は検数労連組合員なら誰でもOK。詳細については各地域執行部まで。

要あるとの認識していることから『特別休暇』の付与は必要である。今後も継続した協議が必要と考える。

65才定年制に向けた協議については検数労連を窓口にして、具体的な協議については各企業内で協議することを確認したい。そのための確認書を交わしたいと考えている。